

日本の竹ファンクラブ通信



コト消費で「筍狩り」に参加しよう！

筍を一人1本食べると放置竹林が消える

放置竹林問題を解決する答えは二つしかありません。竹を使うことと筍を食べることで経済を回すことです。竹ファンクラブは消滅した竹文化の再生に国民参加で取り組みます。

◆筍で放置竹林を解消

かつて万能の素材として活用された竹が放置されて50年、竹ファンが放置竹林の再生を目的に誕生して26年が経過しました。が未だ解決の見通しが立ちません。竹材の利用に関しては多分に他人頼みの所があり、団体独自の努力では叶わないのが実情。しかし、筍に関しては地域ごとに独自のビジネスモデルをつくることも可能で遅まきながら実現に向け始動したところです。

◆消えた筍の食文化。

筍は神代の時代から人気を博してきました。記紀神話にも競って食べる様

子が出てきます。春の味覚を代表する筍の人気は今でも衰えていません。令和4年の筍の国内消費量は17万5千トン、国民一人当たり1.5キロ(約1本)です。しかし、実情は中国からの輸入品が9割を占め、国産品はわずか1割に過ぎません。国産筍が食べられなくなつたことに比例して放置竹林も拡大してきました。

◆コト消費で中井筍狩り

昨年中井町で12年ぶりにマダケの「たけのこ狩り」を開催しました。準備不足もあり、筍はたくさん出たものの、参加者数が期待を裏切る結果となりました。

した。今年はコト消費で体験型の「たけのこ狩り」を目指したいと思っています。

◆魅力満載のマダケ筍

筍と言えばモウソウを連想しますが実はマダケも優れた特徴を持っています。マダケはエグミがなく、味は美味。掘らなくても折るか伐るだけで採れ、汚れることもなく、子どもでも簡単に採ることができます。筍は鮮度が命です。整備された中井の広い竹林で筍狩りを楽しみ、竹筒ごはんを囲み、親子で筍狩りを満喫していただきたいと思っています。

理事長 平石 眞司

小机城址支部

第22回小机城址市民の森竹灯籠まつりは11月8日に成功裡に終了致しました。

9月1日に有志により180本の間伐対象の竹にマーキングテープを巻き、9月6日は本丸東斜面の空堀の整備を実施、枯竹・倒竹等を伐採し本丸からの美観を良くしました。竹灯籠まつりに向け9月13日より5日間かけ伐採、10月5日から竹灯籠作りに3日、設置に4日間、うち1日は雨の中の設置となりましたが、準備作業は、MUSC(国際ボランティア学生協会)とUPSジャパン株式会社の皆さんにご協力をいただき順調に進みました。竹灯籠まつり当日はさらに城郷地区青年部お助け会、ボーイスカウト横浜第20団、あかり人等一般市民の方々、そして我々竹ファン会員の総勢約90名参加がありました。ご協力



有り難うございました。まつりも終わり、竹灯籠は割られ土嚢袋に詰め、将来のチップによる粉碎と、一部竹しごらの中に集積する準備をすすめています。

担当荻原 三男

横浜国際プール支部

9月の活動は刈払い機を併用し、サブプール際法肩の下草刈りと古竹の処理をしました。まだ暑さが残る10月にマダケ林整備、久しぶりにチップパー機も動いて、大エンジン音のなか活動は5人で静かな進行でした。

間伐シーズン第一弾は11月29日、株式会社阪急阪神エクスプレス社員と家族28名が社会貢献活動で来てくれました。これまで小机城址で3回、横浜国際プールはこれで3回目となり、細マダケ間

伐と一部の方がドライバードリルを使って



「かざり灯籠」作りに挑戦しました。5人の子供の中には「竹をもつと切りたい」との言



この時期、赤や黄色に紅葉した木々を愛でながらマダケ林に向かう。園内は幼稚園や小学生らの遠足に中高生のマラソン大会などで賑わう。古竹、折れ竹、曲り竹に細竹などを伐り出しては処理場に集積するが、そばのグラウンドからは運動会の歓声が湧き上がる。トリマー技術を学ぶ専門

こどもの国支部

葉もありました。
担当：根岸秀行

この時期、赤や黄色に紅葉した木々を愛でながらマダケ林に向かう。園内は幼稚園や小学生らの遠足に中高生のマラソン大会などで賑わう。古竹、折れ竹、曲り竹に細竹などを伐り出しては処理場に集積するが、そばのグラウンドからは運動会の歓声が湧き上がる。トリマー技術を学ぶ専門

学校生やシネマズで働く若者たちが音楽に乗せて様々な競技を展開、圧巻は新宿歌舞伎町ホ



ストクラブ。開式の宣誓から閉式まで行儀のよいきびきびした動きにホストに対する認識を改めさせられる。若いエネルギーに触れることができるこどもの国の作業にぜひおいでください。

報告：丹治 薫

中井町支部

中井町の秋のイベント「竹林整備とみかん狩り」を11月22日(土)に行いました。今回は一般の方9名、会員16名が参加しました。平

担当：榮 千彰

竹の学校

竹林管理コース

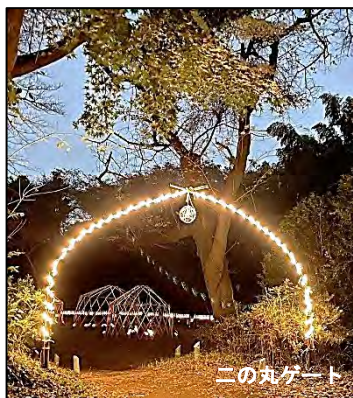
私が竹林管理コースを受講した動機は、放置竹林の対処をどうしたらいいのか全く分からずに困っていたからです。

このコースでは、平石代表を始めとした講師の方々の講義や現場での実習を通じて、竹の特性や特徴、竹林の維持・管理方法などを学ぶことが出来ました。



第22回小机城址市民の森 竹灯籠まつり

11月8日(土)約1,450名のお客さにご入場いただき、癒やしのひとときを過ごしていただきました。



二の丸ゲート



天の川

今後何をどうしていくべきかが分かり、大変ありがたく思っております。

また、コースに参加された様々な目的をお持ちの方々や協力隊の方々との交流や意見交換、アドバイスをいただくことも出来て、有意義かつ楽しく過ごせていただきました。

竹に興味のある方、困っている方は、是非受講されることをおすすめします。

報告：阿藤大輔



竹灯籠ツリー



竹の学校

「親子で学ぶ竹林」

11月16日(日)「きれいな竹林を駆け回れ」の号令のもと、5組9名の親子が参加されました。先ず小机城址支部長のO氏の先導で、城址内を散策、城址の成り立ち等について説明を受けました。その後はお待ちかねの活動開始です。15mから20m位の長さのモウソウチクを、大人でも

竹てっぽう

2025年、横浜市内小学校の総合学習で竹の生態や利活用に関する出前講座依頼が8件あった。毎年2件程だが2年後に旭区・瀬谷区会場で半年に及ぶ園芸博覧会が開かれる影響か、花、樹木、みどりに注目のよう。市内の公園や民地にある竹林近くの学校から、地域の環境やそこにある竹を知る、作る、遊ぶという観点での依頼が急増。年始めに会員講師が出向いたのが2校、秋以降はクラブのイベントが盛りたくさんで対応できずに、問いにメールで答える形もあったが、一計を案じた。近くの竹林に教諭や生徒が行って竹の入手が可能な学校と、研究や活用テーマが決まっていれば、事務局で教諭に竹学や利活用の諸々を教えることです。帰宅時の夕方遅い時間になるが、竹の話しや切って割って磨いてのサンプル作りでした。これで1校の5年生担任2名が来局、自前調達した竹で生徒が竹鉄砲を見事に作ったと喜びの連絡があり、4年生で実験した「閉じ込めた空気と水の伸びちぢみ」を再現、水を含んだ新聞紙の前玉が見事に飛び出したとのことでした“メ出タシ”。事務局

竹割り器で割る



手間取るくらいのもやを子供達も真剣な顔でノコギリを使って切っていました。伐った竹は竹割り器で4つ割りにしました。

次は竹工作の時間です。手桶型花器やペン

立てを作ります。ノコギリで花器の側面をカットしたり、剪定鋏で持ち手部分を切り取ったりと、親子で一緒に一つの作業を経験していただきました。



報告：事務局

TAKEFAN NEWS

竹工房 つかっても良し かざっても和む 「竹 de カップ&スプーン ワークシ ョップ」のお知らせ

◆日時:2026 年 1 月 25 日(日)
10 時 30 分～14 時 30 分
◆場所:小机城址市民の森
◆定員:6 名
ホームページの竹工房又はチラシをご覧の
上、お申し込み下さい。

【新入会員紹介】敬称略 下線は竹取協力隊
首藤安都子(横浜市港北区)

〈活動報告〉

9 月 23 日 港北区・区民活動支援センター主催「竹の花入れ作
りワークショップ」出前参加
11 月 8 日 港北区・区政推進課受託「港北ふれあいまつりワー
クショップ」出前参加
11 月 16 日 竹の学校・「親子で学ぶ竹林」開催
11 月 29 日 株式会社阪急阪神エクスプレス CSR 活動竹林整備
指導
12 月 14 日 通信冬号 NO.104 発行
12 月 14 日 理事会開催

【寄付金】

小机城址市民の森竹灯籠まつりご入場市民の皆様、小机城址市民
の森愛護会様、株式会社阪急阪神エクスプレス様、株式会社阪急
阪神ホールディングス様

予定表

※学校管:竹の学校「竹林管理コース」 ※協力隊:竹取協力隊の定例活動 ※援農隊:竹取援農隊の定例活動
※イベント:詳細はチラシ又はホームページでご覧下さい。

1 月 10 日(土) 協力隊	横浜国際プール 竹垣改修(四ツ目垣)	10:00～15:00
1 月 12 日(祝月) 協力隊	小机城址市民の森 竹林の間伐	10:00～15:00
1 月 13 日(火) 協力隊	こどもの国 竹林の間伐	10:00～15:00
1 月 15 日(木) 協力隊	中井町 竹林の間伐	10:00～15:00
1 月 17 日(土) 協力隊	横浜国際プール 竹林の間伐	10:00～15:00
1 月 24 日(土) 協力隊	小机城址市民の森 竹林の間伐	10:00～15:00
1 月 25 日(日) イベント	小机城址市民の森 竹工房 「竹deカップ&スプーンワー クショップ」	10:30～14:30 事前申込み
1 月 27 日(火) 協力隊	こどもの国 竹林の間伐	10:00～15:00
1 月 31 日(土) 協力隊	小机城址市民の森 竹林の間伐	10:00～15:00

2 月 14 日(土) 協力隊	横浜国際プール 竹林の間伐	10:00～15:00
2 月 15 日(日) 協力隊	中井町 竹林の間伐	10:00～15:00
2 月 21 日(土) 協力隊	小机城址市民の森 竹林の間伐	10:00～15:00
2 月 22 日(日) 協力隊	横浜国際プール 竹林の間伐	10:00～15:00
2 月 24 日(火) 協力隊	こどもの国 竹林の整備	10:00～15:00

3 月 1 日(日) 協力隊 学校管	小机城址市民の森 竹垣改修(竹穂垣) 筥の保護柵と保護棒立て 竹の活用と修了式(城郷小 机地区センター)	10:00～15:00 10:00～11:30 12:30～14:00
3 月 7 日(土) 協力隊	横浜国際プール 竹林の間伐	10:00～15:00
3 月 8 日(日) 協力隊	小机城址市民の森 竹林の間伐	10:00～15:00
3 月 10 日(火) 協力隊	こどもの国 竹林の整備	10:00～15:00
3 月 15 日(日) 協力隊	横浜国際プール 竹林の間伐	10:00～15:00
3 月 22 日(日) 協力隊	中井町 竹林の間伐	10:00～15:00
3 月 24 日(火) 協力隊	こどもの国 竹林の間伐	10:00～15:00
3 月 29 日(日) 協力隊	横浜国際プール 竹灯籠づくり	10:00～15:00

竹に関する情報は下記宛にご連絡をお願いいたします。

E-MAIL:office141@takefan.jp URL:http://takefan.jp TEL&FAX 045-306-9993